

Official publication of SHUKO-GAKUEN

Heart & Hand



2023
Vol.24



生活介護
修光学園

生活介護事業
光の家アクティブセンター

就労移行支援・就労継続支援 B 型事業

飛鳥井ワークセンター

就労継続支援 B 型事業

ワークセンター Halle!

地域生活支援事業・居宅介護等事業・特定相談支援事業

修光学園ディアコニアセンター

共同生活援助事業

修光学園グループホーム

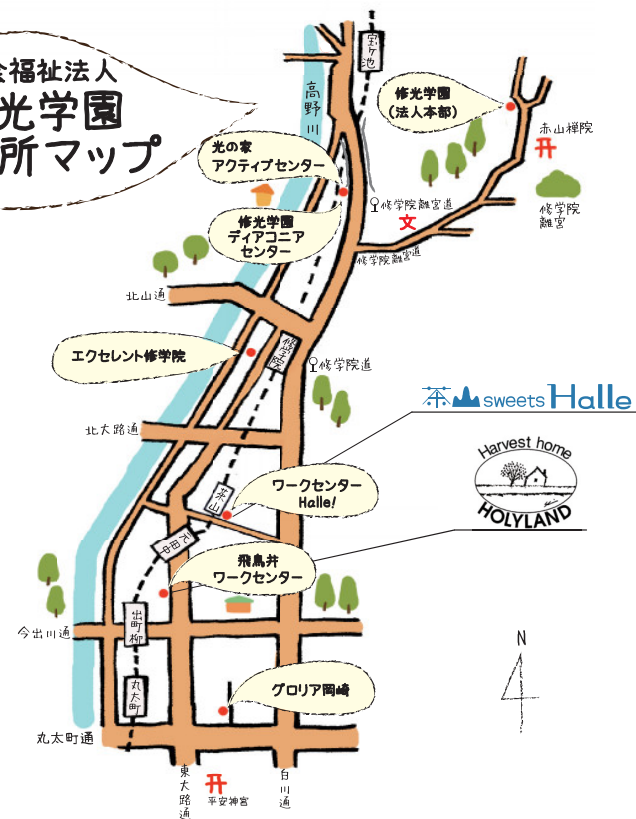
短期入所事業

修光学園ショートステイ「ikoi」, 「hikari」

Heart & Hand 2023

発行所：社会福祉法人修光学園広報委員会 発行日：2024年12月1日 第24号（通算39号） <https://shuko-gakuen.or.jp> info@shuko-gakuen.or.jp TEL 075-702-1700 / FAX 075-702-2700

社会福祉法人 修光学園 事業所マップ



修光学園（法人本部）

〒606-8033
京都市左京区修学院山添町 6-2
TEL 075-702-1700
FAX 075-702-2700
shuko@shuko-gakuen.or.jp



飛鳥井ワークセンター
／ Harvest home HOLYLAND

〒606-8226
京都市左京区田中飛鳥井町 40
TEL 075-722-5991
FAX 075-722-5951
asukai@shuko-gakuen.or.jp



ワークセンター Halle!
／ sweets Halle

〒606-8233
京都市左京区田中北巻菜町 14-1
TEL 075-706-2400
FAX 075-706-2401
halle@shuko-gakuen.or.jp



修光学園グループホーム
エクセレント修学院

〒606-8003
京都市左京区山崎川原町 9-1
エクセレント修学院



光の家アクティブセンター
／ ショートステイ「hikari」

〒606-8012
京都市左京区山崎湾ヶ崎町 3
TEL 075-711-7360
FAX 075-711-7370
hikari@shuko-gakuen.or.jp

修光学園ディアコニアセンター

〒606-8012
京都市左京区山崎湾ヶ崎町 3
TEL 075-702-7991
FAX 075-702-7992
diakonia@shuko-gakuen.or.jp



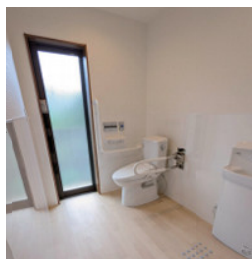
修光学園グループホーム
グロリア岡崎

ショートステイ「ikoi」
〒606-8322
京都市左京区岡崎入江町 40-1



修光学園グループホーム
グリーンビュー宝ヶ池

〒606-0053
京都市左京区上高野車地町106



修光学園グループホーム
管理者 森 亮

「グリーンビュー宝ヶ池」 新築移転で快適な暮らし向上へ

グループホーム「グリーンビュー宝ヶ池」は、2004年に開設。その後20年近くたち、建物の老朽化のため2022年9月に現在の場所に新築移転することになりました。もともと住まわれていた利用者さん4人はそのまま引越されています。

それまではマンションタイプで、玄関まで階段を登る必要があり、不便でしたが、戸建てになり、階段で置く心配もなくなり、部屋は全て個室で、共用リビングは床暖房、コンロはIHに、洗面所が2カ所に増えました。

火災や地震対応など、グループホームに求められる国の安全規格もクリア、以前の立地より大きな川から離れたため大雨による洪水の危険性も皆無になりました。何より住宅街の静かな環境にあり、「施設」感のない建物で、地域住民の方にも快く受け入れていただけて、安心・安全な暮らしが続いています。

また、バスもそれまでと同じ系統のため、利用者さんが出勤や遊びに出かけるのにも混乱することなく、ご本人やご家族、支援スタッフからも「満足して

いる」のお声をいただいています。

グループホームは、利用者さん一人ひとりの「家」にあたります。本来は友人が遊びに来たり、家族と過ごしたりしてほしいのですが、他の方のプライバシーの問題もあり、現実には無制限に開放できないのが辛いところ。もう少し規模が大きければ、団らんスペースなど利用者さんの交友関係を広げられる工夫もできるかな、と考えているところです。

昨今、グループホームの需要が増え、さまざまな業種の方が参入されています。グループホーム全体の選択肢が広がり、それぞれが希望に合わせて選択できるようにすることは、望ましいことだと思います。

修光学園は長く知的障害福祉に関わってきた専門施設として、支援の質、暮らし環境はもちろんのこと、利用者さんの状態に合わせて準備をし、きめ細かい対応を心がけています。

「ここにいて毎日が安心。利用者さんにもそう思っていただけるよう、スタッフ一同、日々精進していきたいと思います。」

Heart & Hand CONTENTS

- 02 インタビュー
修光学園グループホーム 管理者 森 亮
- 03 カタログ
- 05 社会福祉法人修光学園グループの活動
- 07 修光学園
- 09 光の家アクティブセンター
- 11 飛鳥井ワークセンター
- 13 ワークセンター Halle!
- 15 修光学園ディアコニアセンター
修光学園グループホーム
- 17 メディア 2022
- 20 沿革、評議員・役員等名簿
- 21 会計報告（貸借対照表・計算書）
- 22 ご支援くださいました方々



ラムレーズン

フランスパンに手作りラムレーズンバタークリームをサンドしています。バタークリームですが、しつこくなくサクッと食べていただけます。

¥200(税込)



ダブルチョコクロワッサン

クロワッサンに板チョコをサンドしました。シンプルですが絶妙にバランスのよい、美味しい組み合わせです。板チョコとクロワッサンの食感をお楽しみください。

¥200(税込)



チキンと水菜の柚子胡椒サンド

全粒粉生地パンに自家製柚子胡椒マヨネーズを塗り、サラダチキンと水菜をサンドしました。ピリリと辛い中にも旨味があります。

¥350(税込)



湯呑み

陶芸といえは「ろくろ作り」が有名ですが、珍しい「型作り」で作りました。細長い形や丸い形に仕上げるまで、数種類の型を用い手間もかかるので、根気が必要です。

¥1,650(税込)



焼き物皿

焼魚や焼鳥などをのせるのにちょうどいいサイズです。大きすぎず、食卓のスペースを上手に使えます。

(大) ¥2,640(税込)

(小) ¥2,090(税込)



足付小鉢

よきによきと大きな脚が生えたような、ユニークなデザインの小鉢です。食卓が華やかになります。

¥1,870(税込)



ネコ箸置き

一つ一つ手作りの、可愛い箸置きです。猫の仕草を上手にとらえています。

¥880(税込)



フェルト製品

ご利用者さんがコロコロ丸めた、フェルトボールで作りました。

¥200～¥500(税込)



フェルトピック

母の日やクリスマスに贈る鉢植えのアクセントにいかがですか？

¥100～¥200(税込)

商品カタログ

SHUKO-GAKUEN Product catalog

修光学園の
とおきを
あつめて
みました



蜜玉まどれーぬ

京都美山産「とち蜂蜜」、京都丹波産「丹波の赤たまご」、京都後産「鶴乃塩」の、こだわり素材を活かすため、余分な材料を使わない最高の引き算レシピで焼き上げました。

¥260(税込)



城州白けーき

京都城福にある青苔梅林園有品種「城州白」、桃のような甘い香りのする幻の梅を、しっとりとしたケーキに包み込んで焼き上げました。仕上げに「城州白」で作った梅酒をアツアツのうちに吹きかけ、香りをプラスしています。

¥260(税込)



翁乃塩がれっと

京丹後夕ヶ浦の海水を4日間炊き続けた「鶴乃塩」を使用、塩味の中に甘みと旨味が詰ったガレット・ブルトンヌ(塩味の効いた厚焼きクッキー)です。

¥260(税込)



パウムブリュレ

ハードタイプのパウムクーヘンに自家製カスタードをたっぷり詰め込みました。注文をいただいてから、仕上げに表面をキャラメリゼ。表面のバリバリ感を楽しめます。

¥500(税込)



茶山ロール

京都産「ミスホチカラ」の米粉を使い、フワフワに焼き上げたロールケーキ生地に京都産「とち蜂蜜」を使った自然な甘さの特製生クリームを合わせました。自慢のロールケーキです。

カット ¥380(税込) 1本 ¥1,500(税込)

CARIS COFFEEドリップパック

ドリップパックの粉はたっぷり15g入り。注ぎ方の速さや湯量によって味が変わるので、違いもぜひお楽しみください。各種セットで取り揃えているので、ちょっとしたギフトにもぴったりです。

1袋 ¥200(税込)

3袋セット ¥600(税込)

5袋セット ¥1,000(税込)



京の黄真珠から作った 柚子こしょう

鷹の爪の約2倍の辛さと言われる「京の黄真珠」という黄色い丸型のとうがらしと、日本の柚子発祥の地「水尾の柚子」、丹後夕ヶ浦の海水から作った塩「鶴乃塩」。全て京都産の3つの食材のみで作った辛みの強いオリジナル柚子胡椒です。

¥750(税込)



いちじく

いちじく、くるみ、レーズンを練り込んだ、持つとドシッと重く食べ応えのある商品です。薄く切ってクリームチーズをトッピングしたり、ワインと一緒に、召しあがっていただくのもおすすめです。

¥320(税込)



シュトレン

何種類ものドライフルーツを練りこんで焼き上げ、溶かしバターとお砂糖をまぶし仕上げています。パレンタインに合わせた、「チョコレートシュトレン」、ホワイトデーに合わせた「ホワイトチョコシュトレン」も期間限定で販売します。

¥2,000(税込)



※各商品の価格は2025年1月時点のものです。

SNSで
発信中!



修光学園



harvesthome
HOLYLAND



CARISCOFFEE



茶山sweets
Halle

ネットで
販売中!



修光学園
(BASIS SHOP)

【Ⅲ 2022年度 マスタープランの推進状況】

01. 法律・制度等への対応

(1)障害者総合支援法、2021年度報酬改定への対応

2018年4月に施行された改正障害者総合支援法について、現在法人の実施する事業に対して活用できるメニューが存在する可能性も含め、内容の分析と情報収集を行い、今後の中長期的な事業運営への影響等について協議検討を進めました。この改正障害者総合支援法について、いわゆる「施行3年後の見直し」の議論が通っており、2022年12月に改正法案が可決成立しました。内容の精査ととも、各種団体の活動を通して、国への改善要望を行うべく情報収集を中心に取り組ましました。

(2)障害のある方の人権擁護、人権の回復に資する法律・制度等への対応

障害者虐待防止法、障害者差別解消法（禁止条例）、成年後見制度などの障害のある方の人権擁護、人権の回復に資する法律・制度等の適切な理解と、制度の活用を進めると、虐待が発生するメカニズムについて多岐にわたる理解を深め、「より良い支援」を提供していく取り組みを積極的に進めました。また、法人の事業等全体的なアクションにおいては、国連の障害者権利条約の内容とその指針として常に持ちあわせるとを目標し、真の共生社会の実現に向けて取り組みを進めました。2022年度より児童虐待防止となした虐待防止委員会や身体拘束適正化検討委員会の設置運営、従業者への研修実施に関して、法人内の体制整備とともに、サービス向上委員会が核となつて適切な運営と研修等の実施を進めることができました。

03. 福祉サービスの提供

(1)サービスの質の向上と人材の確保・育成・定着に資する取り組み

運営理念や基本方針等に基づき、福祉サービスの質の向上と人材の確保・育成・定着に資するため、以下の取り組みを継続して行いました。

一、運営理念及び基本方針等の徹底

法人の運営理念や事業所の基本方針、管理規程等を役員員に周知し、法人として進むべきビジョンを明確にするために、役員や職員会議の場において理事長、施設長等から表明する機会を複数回に渡って設けました。また、新規採用職員研修会、全体職員研修会の場においても、法人の成り立ちや与えられた使命、法人理念や基本方針に基づいて事業所、職員がそれぞれ役割を担うことの重要性について周知徹底する機会を設けました。さらに、法人の設立日を記念して、10月1日には、修光学園新築の前日に役員が集い、法人設立に際した経緯の思いと姉妹に伝え、当時から変わらない福祉にかけける熱意と、利用される方への敬愛の姿勢を共有し、感謝する場となりました。

二、サービスの質の向上

サービスの質の向上を図るため以下のことを継続して行いました。
・法人組織に設置したサービス向上委員会の活動を充実させ、職員等による「不適切な支援（＝虐待）をゼロにスロウ」して多角的にサービスの質の向上を図ります。具体的には、利用者支援に直接関与のあるマニュアルの改定作業、職員間の風通しし良い関係づくりを目的とした座談会企画、職員自身の日々の業務を振り返る「サービス向上セルフチェックシート」の策定、課題を抽出し、サービスの質を向上するための全体研修会の企画開催などを行いました。
・サービス向上委員会及び虐待防止マナーチームを中心に、虐待に際する可能性のある事象や身体拘束の不適正な実施に該当する事象が難い

どうかの確認を行い、各事業所スタッフミーティングでも虐待・不適正な身体拘束等の防止についての意識を向上する取り組みを継続的に行いました。
●2013年度に制定した倫理綱領が職員全員に浸透するように、全課資料や研修会への掲載、事業所内への掲示などの情報交換を進めました。
●これまで受診した福祉サービス第三者評価の結果をふまえ、マニュアル等の整備やサービス内容の改善を進めました。2022年度は、光のケアセンターの受診を画面上にしました。諸事情により変更し、ワークセンターHalleの2度目の受診を行いました。

三、人材の確保・育成・定着に資する取り組み

質の高いサービスを継続的に提供するため、次のことを継続して行いました。
●より良い人材を確保できるように、職員募集時の見直しや、大学・専門学校等に対する採用活動を行いました。また、「きょうと介護・福祉ジョブネット」事業への参加により、事業所、大学等との情報交換や連携強化を実現することが出来ました。2022年度は、新卒学生の確保の一環として、株式会社「パイ」との協約を行いました。
●2018年度に設置した「人材採用・育成特命チーム」を中心に、福祉就職就活生の出版、大学等の事業への参画など、新規採用職員に対するフォローについても研修実施など具体的な実績がありました。2021年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で、オンラインを活用したインターンシップや法人PRの機会を逃すことなく、積極的な採用活動を展開することが出来ました。
●法人組織に設置した研修委員会の活動を充実させ、個別・計画的な研修の受講、キャリアの形成に毎週システム作り等を進めました。具体的には、職員研修時間内、研修実施「資格取得講座、キャリアアップ・ヘルプ」の受講し、キャリアアップの仕組を継続しました。
●全職員の有資格化を目指し、職員の福祉系資格の取得を奨励し、またスキルアップを支援するため、「在職者資格取得・スキルアップ支援事業

策」を継続運用しました。2022年度中の申請・運用はありませんでした。
●全ての職員が実習として職務に立ち、ライフワークとして職場に定着出来るために実現していくメンタルケア・ヘルスケアのシステム、職員のキャリアアップに対する希望等を把握するためのヒヤリング実施などの取り組みを体系化した「社会福祉法人修光学園ヘルスケア・トータルサポートシステム」を継続運用しました。また、福利厚生サービスとして、保険会社との提携による健康保険サービス、メンタルケアカウンセリングサービスを継続導入し、職員への周知を行いました。
●2017年度に設置した「働きやすい職場づくり検討会議」を継続設置し、労働環境の改善推進等の活動を行いました。

(2)各事業所の機能強化と個別支援の充実

複数の事業形態で事業所運営を行っている法人全体のスケールメリットを活かし、各事業所の機能を強化し、雇用効果の促進・充実（利用者資金）の増進、日中活動支援の充実、生活支援の充実等に取り組ましました。各事業所の機能強化と充実。また、HOLLYLAND建物の建て替えを軸とした法人事業全体の再編については、2020年度に開始した新事業所「光のケアセンター」に修光学園グループ（Halle）の移転により一応の完了を見ることになりました。今後、これらの再編をますます加速させてまいりたいと思います。

(3)新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現在の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一体的充実を図りました。2022年度は、既存のマンション型グループホーム（グループ・ホーム）の老朽化の状況と合わせて、再建で福祉宅への移転計画を進め、8月末に竣工の予定です。9月半ばに竣工し、新しいホームでの生活をスタートさせることが出来そうです。

し、法人ホームページの完全リニューアルを実施しました。

(2)福祉人材育成、社会啓発活動への積極的な取り組み

各事業所の実習等受入担当職員を中心に、社会福祉士資格取得のための実習のため、広く市民に対して、事業所や職員が持つ専門性、地域貢献を資源として活用していく取り組みを事業所単位で進め、実施しました。コロナ禍で制限や制約がある中ではありましたが、具体的に、各事業所の存在と連携した「障害者権利促進（人権学習）」の取り組みや、社会福祉士に留まらない幅広い学習型を受け入れたいと行いました。市民らに提供され、必要とされる法人・事業所と成り得るため、ホームページへの情報掲載、事業所の開設（見学）や、ボランティア受け入れ等を中心として法人運営の透明性の確保に努めました。その一環として、2023年2月、中小企業デジタル化推進事業補助金を活用

修光学園は35年目、その他事業所も開設から20年以上経過している事から、設備等の更新を随時行いました。2022年度には、ご利用者家族からの相談を受けることになり、これを基にした建物改修計画に着手しました。また、2021年度以降、修光学園後援会の協力のもと、苦情処理の「リーフレット」を毎年作成・配布し、大きな効果が見られています。

05.その他の法人の取り組み

(1)法人事業所の建物、設備、機器等の経年劣化に伴う改修への対策

2022年度 社会福祉法人 修光学園の歩み

【I 概説】



社会福祉法人 修光学園
理事長 森 のり子



2022年度 法人設立記念式の様子

し適正に職員へ配分する取り組みを行って参りました。
2020年度に行つた大規模な人事・管理職員の削減と一般職員の配置数変更や福祉職員、キャリアパス制度の具体的な充実を目的とした給与システムの改革により、人事費率を適正化する効果が表れていました。また、各事業所で新規利用者の受け入れや利用率の向上、各種加算の効率の取得に取り組んだことで、収支状況回復の兆しが見えてきます。しかしながら、予測し難いご利用者の契約終了も相次いでおり、安定的な収入確保への課題が浮き彫りになった一面もあり、タイムリーな新規利用者の受け入れも含めて引き続き給付費収入の増収を図るべく、共に、新たな加算取得、介護職員処遇改善加算、民間助成金等の活用とともに、一部事業のスリム化にも節用を掲げ、事業と財政の健全化を図りました。給付金と経費の削減について、新キャリアアップ・ヘルプ指標の試行結果から、内容を確認し、規模やガイドライン策定など、顧問会計士や社会保険労務士とも連携して進めてまいりました。
他方で、改正障害者総合支援法施行3年後の見直し、の議論が進み、今後の障害者支援の在り方に関わる重要な方向性が示されているとされている改正法案が可決成立しました。2024年4月にはこの施行と、報酬改定も予定されていることから、情報収集や分析に努め、各種団体の活動を通して、国への改善要望を行ってまいりたいと思います。
●この数年の課題である法人全体の収支パランスの崩れを、このようにして改善へと導いていくが、会計や組織運営の専門家も交ながら疑問を通して協議検討を重ねてまいりました。単純に経費削減に終始することなく、職員のキャリアアップの仕組みを充実させることで、持続可能性のある組織へとさらなる成長を図ることを願って取り組んだ法人並びに、各事業所の2022年度業績を以下のとおり報告します。

【Ⅱ 法人運営に係る会議の開催】

会議体の種類	会議の内容と開催頻度
評議員会	法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会を開催。（年間1回の定時開催及び随時開催）
理事会	法人の業務執行の決定機関である理事会を開催。（年間2回以上）
監事会	理事の職務執行及び法人の財産状況を監査する機関である監事会を開催。（年間1回程度）
法人センター長会議	法人と事業所の運営に係る実務を協議するため法人センター長会議を開催。（随時）
法人運営会議	法人事業所間の連絡調整及び協議を行い、事業所の運営を円滑に進めるため法人運営会議を開催。（月1回程度）
サービス管理責任者会議	法人内事業所のサービス管理責任者で構成し、各事業所のサービス提供に関する一連の行程に關して進捗確認や情報交換を行う。（月1回程度）
委員会会議	法人事業所を横断的に組織する委員会（サービス向上委員会、研修委員会、働きやすい職場づくり検討会議、人材採用・育成特命チーム）の活動を推進するため各委員会会議を開催。（年間6回～12回程度）
法人職員全体会議	法人のミッションを共有し、全事業所を有機的かつ円滑に運営するため全職員による会議を開催。（年間2回程度）

※法人及び事業所の事業報告等はホームページに掲載しています。

生活介護事業

陶芸作業

練り込み技法を中心とした
陶芸製品の製作



ご利用者
7名

2022年度は新たに、無印良品の企画「Found MUJI」で東京銀座の店舗での展示販売への出品や、東福寺の中で開催された「京の逸品物語」企画への出品する機会が得られました。班体制を製作班と製品管理班に分けることで、効率的に活動が行えました。光徳学区より、フリーカップの注文を受け、納品。また、別途フリーカップの大量注文がありましたが、製作と箱詰め梱包作業とを分担することにより、効率よく作業ができスムーズに納品することができました。製品の売上動向、在庫数、検品結果等を製作班と共有することにより、製品を計画的に製作し、在庫量の安定化を図りました。陶芸作業以外に、買い物等の外出やウォーキング、表現活動の機会を計画的に設定しました。あうる京北で行われた福祉高齢者施設合同作品展では、展示のみならず、製品をアビールし、販売も行いました。

【販売先】日本セルフセンター、京都ほっとはあとセンター、はあと・フレンズ・ストア、アノニム・ギャラリー(長野県)、ドツテテ、スリーパズ、ぎんぎん堂

【出品先】りんご工舎、(株)BLUEを通じて無印良品の企画「Found MUJI」

【出展先】恒例の清水焼の郷まつり(2022年度は再開)、東福寺塔頭一華院で開催「京の逸品物語」

企業提携・クラフト・陶芸製品管理

さしこ布巾、紙製品、縫製製品の製造販売及びネジの袋入れ、
紅茶の袋詰めなどの企業提携作業、自立の促進、生活機能・
身体機能の維持向上への取り組み、陶芸製品の管理業務

ご利用者が視覚的に一日の作業等のスケジュールが見通せるように作業環境を整備しました。作品展等を通じて、新規販売先や顧客の開拓に努めました。納品の際などに、提携先企業とのやり取りや作業を通して、社会人マナーやコミュニケーション面のスキルアップの機会を設けました。陶芸製品の在庫管理や販売準備作業の効率化を図るため、ケースにラベルを添付し、製品を整理しやすくするなど、活動内容の具体化を進めました。陶芸製作部門と連携を取り、検品の結果や在庫数等の情報を交換することにより、よりよい製品作りに反映させました。ご利用者の個性を生かした彩色を用いてオリジナルのショップカードを作成しました。ネットショップ(BASE)での販売開始に向けた準備に取りかかりました。

【販売先】京都ほっとはあとセンター、ふらり嵐山、はあと・フレンズ・ストア等

【提携先】中村鉄螺、北村紙器、紅茶倶楽部、他



ご利用者
21名

表現活動

ご利用者
約10名

描く、作る等の個々の能力や思いを表現する活動

班単位で、食堂の壁面飾り(季節のカレンダー作り)を毎月行い、テーマを決める話し合いにも重点をおきました。主に平面作品をグループで、貼り絵、色鉛筆、絵具等を使って制作しました。8月～11月は、アートセラピストの方に訪問していただき、約3か月間(7回程度)は、5名のご利用者に、アートセラピーを受けていただきました。実施後は記録や分析をセラピストが行い、ご利用者個別の特性や創作に関わる目的や目標などの設定にも役立てることが出来ました。個別での制作に興味を示されたご利用者には、作業と制作の適度なバランスを取りながら、制作機会を提供しました。



社会参加支援事業

6/5…ナイスハートふれあいのスポーツ広場(招待)
9月～10月…日帰り旅行(※中止)
※8月8日に代替企画として「バーチャル旅行」を企画。東京と長崎方面とに分かれて、動画を見たりお土産を持ち帰るなどして楽しみました。
10月1日…社会福祉法人修光学園 設立記念式
11月19日…修光学園オープンデイ(陶芸教室・陶器、クラフト製品、焼き菓子などの販売)
12月3日(土)…クリスマス会 修学院教会 利用者18名
8月20日・12月3日・3月4日…ランチデイ

福祉人材の育成

見学希望の方には、手続きを経た上で、随時見学していただきました。
福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。

【見学の受け入れ】	【研修・実習の実施】
9月9日…京都ノートルダム女子大学 1名	9月12日…佛教大学 1名
2月8日…同志社大学 3名	9月13日…花園大学 1名
2月24日…花園大学、佛教大学 各2名	11月15日…佛教大学 1名
3月3日…花園大学 2名	
3月14日…佛教大学 2名	

修光学園は、日常の生活の自立と就労による社会参加を目指し、就労支援や生活支援を行っています。作業活動は、陶芸班、企業提携・製品管理・クラフト班の2班で編成され、オリジナル製品の制作に取り組んでいます。

修光学園

SHUKO GAKUEN [生活介護事業]



陶器やフェルト細工などを買ってもらった時に同封するショップカード。自分たちで手作りしているので、いろんなデザインがあって見ているだけでも楽しい!



タンボを使った作品作り。みんな協力して色を入れていきます。



木工を使った自慢の大作。電気も付く仕掛けもあるよ!



絵を描く時は一生懸命、集中して描きます。



合間にちょっと休憩!

スタッフ
渡辺 仁 さん



その人らしい表現の場を「つくる」

1階が陶芸、2階がねじや紅茶の袋詰めをする企業提携班です。2021年度から「表現活動」の時間を適宜設け、みなさんに自由にものづくりをしてもらっています。布のタンボを作って皆でボンボン遊んだり、そのうち木片など素材も増え、繊細なモザイク画を作る方も、「こんなに根気強く取り組めるんだ!」と個性を知る機会にもなっています。作る面白さ・発想を楽しんでもらえればと、未知の画材や素材の準備に奔走中です。

事業の要点 修光学園

2022年度は新型コロナウイルス感染症への対応に苦慮しながらも、利用者のみなさんが安心して充実した活動に取り組めるよう、特に以下の点について重点的に取り組みました。

①障害特性に応じた環境整備と専門性の向上
発達障害の方々安心して過ごすことができる個別スペースの設置や視覚支援などに取り組ましました。また、職員のスキルアップや体制整備を進めるため、自閉症・eサピスが開催する研修や、京都府が実施する強度行動障害支援者養成研修に複数の職員を派遣しました。

②健康管理と運動プログラム
健康管理や運動機会の提供を目的に、屋外でのウォーキングを定期プログラムとして年間を通じて実施しました。また、月に2回程度、専門職の指導や協力の下で館内でのストレッチを中心とした身体機能維持のためのプログラムを実施しました。

③表現活動
2021年度から新たな活動プログラムに位置付けた「表現活動(創作・アート、音楽活動など)」を継続し、ご利用者一人ひとりの得意な領域を見出すことや、グループ制作を行うなど、多様な表現を支援する取組となりました。この活動で制作した作品は館内掲示や、法人SNS、ホームページを通じて披露しており、今後も積極的に展開していく予定です。

④生産活動を通じて社会参加の支援
中小企業デジタル化推進事業補助金を活用し、2023年2月に法人ホームページを完全リニューアルしました。これに合わせて、陶器製品をプロカメラマンに撮影していただき、ネットショップ(BASE)をオープンしました。

生活介護事業

製品製造・企業提携作業

フェルト製品、刺し子布巾、布マスク、
布小物アクセサリなどの自主製品づくりと販売。
紙器加工などの企業と連携した作業

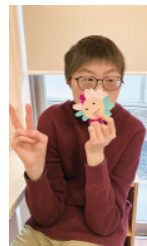
- 銀花園からフェルト製品を使ったピックを年間通じて注文を受けました。
- 松ヶ崎にあるフラワーショップ歳時樹が母の日ピックを購入していただきました。
- 布マスクを製作し、法人内事業所にて委託販売を行いました。また、クリスマス会のプレゼントとして刺繍入りタオルの注文を受けました。
- ご利用者が描いた絵をタオルに刺繍し、ひかりファミリーデイでご家族に販売しました。
- 布を使って、ヘアゴムなどのアクセサリを製作しました。
- 法人内事業所ワークセンターHalle!の紙器加工の作業を請け負い、定期的に納品を行いました。
- 修学院小学校PTAより卒業生に贈るコサージュの製作注文をいただき、100個を納めさせていただきました。

【販売先】

フラワーショップ歳時樹、株式会社 銀花園、法人内事業所

利用者主体の活動

- 4月27日…役員自己紹介、代表決め
- 4月29日…事業説明会、権利擁護、虐待防止説明会
- 11月24日…クリスマス会役割分担
- 3月30日…お疲れ様会について話し合い、今年度の振り返り



運動・リハビリ活動

体力維持・健康維持につながる身体的ケア(ストレッチや体操など)。
生活機能・身体機能の維持向上への取り組み(体幹機能訓練や歩行訓練など)。

社会参加支援事業

【事業所の行事】

- 6月25日・3月4日…オープントイ
- 6月23・30日、2月2・9日…パン販売レク
- 10月1日…社会福祉法人修光学園 設立記念式
- 11月24日…ひかりファミリーデイ
- 12月23日…クリスマス会
- 8月11日、11月3日、2月23日、3月21日…ランチデイ
- 3月31日…お疲れ様会

福祉人材の育成

見学希望の方には、手続きを経た上で、随時見学していただきました。
福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。

【見学の受け入れ】

- 9月7日…立命館大学 3名
- 10月20日…大谷大学 2名
- 2月8日…同志社大学 3名
- 2月24日…花園大学、佛教大学 各2名

【研修・実習の実施】

- 11月7日～21日…佛教大学 1名
- 11月28日～12月12日…佛教大学 1名
- 2月6日～20日…京都保育福祉専門学校 2名

光の家アクティブセンターは、2020年4月に開設しました。作業活動に加えてリハビリテーションや食事、入浴サービス等を提供し、ご利用者一人ひとりの保有能力の維持向上に取り組んでいます。

光の家 アクティブセンター

HIKARI NO IE [生活介護事業]

ちぎった新聞紙をビニール袋に入れて形を整えたら、海を優雅に泳ぐお魚の完成!



見て見て!素敵に
できあがりました!



みんなで力を合わせて
一つの作品を作ること。

スタッフ
吉田 美咲さん



壁画でコミュニケーションを「つくる」

保育士の経験を活かして、光の家では「美術サークル」を担当しています。季節ごとの壁画は、ご利用者さんの得意なことを活かしながら、段ボールや紐、ビニール袋などの日常にある身近な素材を使って、様々な手法で制作しています。壁画作りをしていると「この花見たことあるなあ」「そろそろ〇〇の季節やな」などの会話が弾み、皆さんの表情が豊かになります。制作後の「すごい楽しかったわ!!」「みんなが見て喜んでくれた!!」と達成感いっぱいの声が嬉しくて、また次の制作に向けてアイデアを考えることが私の楽しみにもなっています。これからの、制作を通してつくる人とみる人が笑顔でつながりあえるような作品づくりをしていきたいです。

事業の要点 光の家アクティブセンター

- 事業所開設3年目となった2022年度は新型コロナウイルス感染症の感染者が複数発生したことによる臨時休所はありましたが、対応に最大限の注意を払いながら、利用者のみなさんが安心して充実した活動に取り組めるよう、特に以下の点について重点的に取り組みました。
- 〈地域との関係づくり〉
2021年度からの取り組みとして、近隣の方に向けたパン・飛鳥井ワークセンター製造の販売を継続し、ご利用者に接客を経験していただく中でリピーターが確実に増えるなど、充実した取り組みとなっています。
- 〈家族との交流〉
11月に「ひかりファミリーデイ」を開催し、ご家族の方に開設当初からの活動風景の動画を視聴していただいたあと、スタッフ紹介やグループホームの動向、障害者福祉の現状、親亡き後の暮らし、高齢化・障害の重度化に伴う支援の現状と今後の在り方をテーマにした懇談会を行いました。
- 〈健康管理と運動プログラム〉
健康管理や運動機会の提供を目的として専門職の指導や協力の下で、拘縮防止のためのストレッチや体幹機能維持のための体操プログラム等を実施しました。同時に運動器具の購入など、設備面の充実も図りました。
- 〈表現活動〉
2021年度から新たな活動プログラムに位置付けた「表現活動(創作アート、音楽活動など)」を継続しており、この活動で制作した作品は館内掲示や、法人SNS、ホームページを通じて披露しています。
- 〈実習生の受け入れ〉
福祉人材の育成を目的として、養成校2校から保育士養成課程の学生4名を実習生として受け入れました。

就労支援事業

2022年度の平均工賃
23,643円

製パン課

各種パンの製造、店舗販売、注文販売、出張販売

ご利用者
13名

随時、季節商品(期間限定商品)をはじめとした新商品の開発や既存商品の見直しを行いました。新型コロナウイルス感染拡大のため中止となっていた高齢者施設、児童館での販売や納品が再開しました。またサンガススタジアム、叡山電鉄イベント、SKYフェス、府民フェスタ、西本願寺での販売に出店しました。

【販売・注文先】

〈定期外販・委託販売先〉ひとまち交流館、ハートピア京都、京都ノートルダム女子大学、ノートルダム女学院中学高等学校、イズミヤ高野店、光の家アクティブセンター、市原寮、花友しらかわ、ティサービスやすらぎ
〈定期注文〉養正保育所、北白川いずみ保育所、愛友保育園、鴨東幼稚園、修学院第二児童館、京都福祉サービス協会(本部)、京都福祉サービス協会(高野事務所)、左京区社会福祉協議会、鶴山保育園、八瀬保育園

企業提携課

青果類の計量及び袋詰め作業ねぎの皮むき作業

ご利用者
39名

地元の企業との連携により作業を受託し、ご利用者への就労支援を行いました。新しい作業として、なかもろ総業センター横にできた精肉の加工センターからの依頼を受けて、数名が精肉加工センターへ赴き精肉加工の作業に取り組んでいます。主たる2つの作業をスタッフが交代で担当、作業と利用者の情報共有を図りました。取引先の事業所移転に伴い、ねぎの入荷量が減少しました。それに合わせてねぎ加工作業に代わる新規事業としてコーヒード豆の焙煎・販売が展開できるよう2022年末より準備を始めています。

【提携先・取引先】

(株)新鮮館なかわら、(株)グレースたなか、(株)京都知七 他

調理配食課

各事業所の昼食配膳、グループホームへの夕食配食

ご利用者
11名

- 調理配食事業(飛鳥井ワークセンター・光の家アクティブセンター・修光学園・ワークセンターHalle!)への昼食配食、修光学園グループホームへの夕食配食
 - 柚子こしょうの製造および販売(店舗及び各種イベント販売)
- 【活動結果】
- 指示書などを使い、作業を選び自分で考えながら作業に挑戦できるよう取り組みました。
 - 手洗いの方法等について、利用者に分かりやすいようにイラスト入りで掲示を行いました。
 - 季節感のあるメニューや、新メニューなどを検討し提供しました。
 - 利用者の調理技術向上のために、土曜出勤日を利用して利用者の考えたメニューを調理する機会を設けました。
 - 衛生管理に必要なHACCPの考え方を取り入れた日誌の活用を行いました。
 - 京都府の魅力アップ事業に「京の黄真珠で作った柚子胡椒」を申し込み、BASEを使った販売ページを製作しました。
 - 京の黄真珠生産組合のすこやか嵯峨野ファーム、水尾特産品加工組合などの生産者さんと直接やり取りをさせていただき、京都産の素材を使った柚子こしょうを販売しました。

【取引先】

飛鳥井ワークセンター、光の家アクティブセンター、修光学園、修光学園ディアコニアセンター、ワークセンターHalle!、修光学園グループホーム

【販売・注文先】

都ホテル京都八条、古民家カフェこむすび



就労移行支援事業

就労移行支援…ご利用者1名

ご利用者一人ひとりの目標や課題にあわせ、飛鳥井ワークセンター各作業課でのトレーニングに取り組まれました。必要に応じてビジネスマナーの学習を実施。1月に1名の方が企業就労をされました。

【連携先】

京都市障害者就業・生活支援センター、ハローワーク(京都障害者職業相談室)、京都障害者職業センター、京都保健福祉局障害保健福祉推進室、他の就労移行支援事業所

就労定着支援…ご利用者1名

一般就労した方の精神的サポートや他の就労移行支援諸機関との協働、就労先担当者との連絡調整を行いました。また必要に応じて、関係諸機関によるケースカンファレンスを実施し、生活環境の改善等の支援を行いました。

【連携先】

京都市障害者就業・生活支援センター、ハローワーク(京都障害者職業相談室)、京都障害者職業センター、京都市保健福祉局障害保健福祉推進室、他の就労移行支援事業所、一般就労先各企業、相談支援事業所、地域包括支援センター

福祉人材の育成

福祉人材の育成に資するために実習等を積極的に受け入れました。

【研修・実習の実施】

8月17日～9月20日…佛教大学2名、花園大学1名
9月5日～8日…立命館大学3名
8月22日～24日…京都府 福祉職場1名
8月30日…オンライン実施 京都府 福祉職場2名
10月3日～11月7日…大谷大学2名
1月27日～2月10日の間で各8日間…同志社大学3名
2月13日～24日…花園大学5名
2月20日～3月15日…佛教大学4名
2月20日～22日…京都府 福祉職場インターンシップ2名
2月27日…オンライン実施 京都府 福祉職場インターンシップ1名

飛鳥井ワークセンターは、従業員(ご利用者)の自己選択と自己決定を尊重し、就労による自己実現を支援しています。就労支援では、製パン課、企業提携課、調理配食課に分かれた就労の機会を提供するとともに、生活面の充実に向けた支援にも取り組んでいます。

飛鳥井ワークセンター

ASUKAI WORKCENTER

[就労移行・就労継続支援B型]



おいしいパンを作るには、分量をきちんと量ることも大切。

柔らかい葉を傷つけないように一つずつ袋に入れていきます。



キレイになるとうれしくなります!ねぎの皮むきは人気の作業。



みんなに美味しい給食を食べて欲しい!昼ごはんの時間まで気を抜かず頑張ります。



スタッフ
島 昌洋 さん

多様な働き方を「つくる」

地元のスーパーマーケット2店と連携し、野菜の皮むきや袋詰め、納品をしています。次々売れて「次の納品を」と頼まれ、「急がね、私」とやりがいを感じる利用者さんも多いです。ほかに製パンや給食調理など、各自が「やりたい」仕事を選択。合わない場合は変更でき、体調を見ながらスタッフが支援に入ります。また他の企業に就労移行する方も多数いらっしゃいます。就労施設ならではの「働く喜び」「人に感謝される」実感を、大事にしています。

事業の要点 飛鳥井ワークセンター

【ソシヤルワーク実習の受け入れ】
社会福祉士養成新カリキュラムが始まって2年目となり、2回生の実習生受け入れが今年度から始まりました。これにより受け入れ人数が一気に増えて短期間実習と長期間実習を合わせて受け入れ人数が年間合計20名となりました。養成校ごとにソーシャルワーク実習1・2の位置づけや実習日数が異なるためプログラムの作成に苦労はあったものの、実習指導者を1名増やして3名体制とするとともに、養成校と密に連絡を取り合うことで柔軟に対応することができました。実習生の積極的な受け入れは次世代の支援者を育成することにも、ご利用者のみなさんが若い人たちと出会う貴重な機会にもなっており、多くのご利用者は実習生が来ることを心待ちにされています。

【就労移行支援】
2022年度は1名の方が就職されました。就職してすぐに一人暮らしを始めることがなかったため、住まい探しや引っ越しに伴う諸手続の同行等の支援を行いました。
【就労継続支援B型】
コロナ禍においても各作業課で年間を通して安定して仕事を確保することができました。しかし、売上手前の水準まで戻すことができたものの、世界情勢の影響を受けた物価高騰により利益が前年度より少し減るという結果に至りました。

2022年度は利用されるご利用者の人数が多いという飛鳥井ワークセンターの特性・新型コロナウィルスの感染を完全に防ぐということは難しくなったものの、適宜状況に応じた対応をとりながらご利用者のみなさんが安心して充実した活動に取り組めるよう、またお渡しする工賃を少しでも増やせるよう特に以下の点について重点的に取り組ましました。

就労支援事業

2022年度の平均工賃
35,980円

製菓事業

各種洋菓子の製造、委託販売、
注文販売、店舗販売、OEM商品製造

ご利用者
8名

こどもの日、ハロウィンはイベントを開催、クリスマスはケーキ販売(予約)、バレンタイン、ホワイトデーと期間限定商品を製造し販売促進に努めました。なお、新型コロナウイルス蔓延防止の観点からイベントチラシのポスティングなどはせず、SNSでの情報発信や店頭での告知のみに留めました。京都の生産者から仕入れた京都産フルーツを使用した「米粉シフォンのフルーツサンド」を店舗で不定期に販売しました。オープン5周年記念イベントで「ひえい」デザインのクッキー缶を販売開始。2024年の1月26日まで販売可能。缶の在庫がなくなり次第販売終了。 京都市のふるさと納税返礼品に「京都sweetsセット」が採用されました(継続中)。ITP主催のネットショップ「京まちさんぽ」に参入、日本セルブのネットショップのカタログに掲載されました。

【販売先】

茶山 sweets Halle、HOLYLAND飛鳥井店、京都ほっとはあとセンター各店舗、じねんと市場、はあと・フレンズ・ストア、高島屋(オンラインストア)等の委託販売店のほか、各種バザー販売会等での販売が少しずつ増えてきています。



社会参加支援事業

【行事】

5月10日…各作業課慰労会
6月11日…小グループ慰労会 京都散策コース、大文字山登山コース
10月1日…社会福祉法人修光学園 設立記念式
12月19日…miniクリスマス会



紙器加工事業

箱折り、DM作業、企業提携、他

ご利用者
26名

企業との連絡を密にし、コロナ禍による受注量の落ち込みをカバーできるように取り組みました。作業の効率化を目的に作業導線の見直しや利用者への評価を行うタイミングの見直しを行いました。DM作業の新たな受注獲得、閑散期の作業獲得に向けた企業へのアピールを行いました。

【取引先】

山田紙業、コトブキ、福見印刷、平安、ISA、雅Hand Work Service、シマプリ、プレスハウス、デリバリーサービス、オスカーヤマト印刷、芸州堂、京都市北部障害者地域自立支援協議会、日本セルフセンター他

福祉人材の育成

・福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。
・各種学校等と連携し、実習の目的に応じた実習生受け入れ体制を整えました。
9月6日～21日…京都ノートルダム女子大学 1名
9月8日…飛鳥井受入実習生 2名
9月9日…飛鳥井受入実習生 1名
10月26日…飛鳥井受入実習生 2名

地域との連携と 地域福祉の推進・啓発活動

【見学・研修】

見学希望の方には、手紙を縫う上で、随時見学していただきました。
6月10日…東山総合支援学校 インターンシップ11名
6月17日…ワンデイチャレンジ見学 学生1名
6月30日…北総合支援学校 1名
7月6日…個人 1名
7月21日…東山総合支援学校 1名
8月17日…京都ノートルダム女子大学 1名
9月21日…京都弁護士会 8名
9月28日…北総合支援学校 1名
10月14日…ヤマト福祉財団 夢の懸け橋塾 11名
11月1日…白河総合支援学校 1名
11月7日…京都教育大付属総合支援学校 2名
12月13日…養徳小学校 8名
2月8日…飛鳥井受入実習生 3名
2月22日…インターンシップ 2名
2月24日…飛鳥井受入実習生 4名
3月3日…飛鳥井受入実習生 2名
3月14日…飛鳥井受入実習生 2名
3月20日…個人 1名
3月22日…個人 3名

ワークセンターHalle!は、従業員(ご利用者)が自立した社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、活動を通じて、知識及び能力向上のための必要な支援を行っています。

ワークセンターHalle!

WORKCENTER HALLE!

【就労継続支援B型事業】



箱をたがい違いに置いて積み上げていく難しい作業も手慣れたもの。

仲間と一緒に作業するのは楽しい! 仕事はかどります!



静かに黙々と作業するのも悪くはないね!



丁寧に折っていくことが綺麗に仕上げるコツだよ!



封筒の封入作業も大切な仕事のひとつ。機械を使うので注意深く行います。



センター長
田中 公智 さん
たなか ともち

地域とのつながりを「つくる」

ハツ橋やチョコレートなどの菓子箱を成形する「箱折り」、封筒に書類を入れる「封入作業」や「発送代行」など、さまざまな作業を行っています。製函機や重量検品機など機械導入と、作業手順の工夫やご利用者さんのスキル向上で生産性も上がり、ご利用者さんの工賃アップも実現できました。またお菓子は百貨店のお中元やお歳暮ほか、市内の各私立中学、高校、大学から、パンも含めて販売依頼が急増。地域の皆様に愛されることが、大きな励みになっています。

事業の要点 ワークセンター Halle!

2022年度は新型コロナウイルス感染症への対応に苦慮しながらも、利用者みなさんの高い工賃が支給できるよう、また、仕事以外の活動にもやりがいや楽しさを感じていただけたら、特に以下の点について重点的に取り組みました。

〔生産活動および就労支援の充実〕

― 紙器加工事業 ―

コロナ禍によって受注量が大きく減ってしまった紙器加工事業を補うために昨年度から始めた封入封緘作業を今年度は軌道にのせることができました。ヤマト財団「夢のかけ橋実践塾」への職員派遣を通して様々な助言を得ることもでき、2022年度の目標を3割以上超える収入を得ることができました。

― 製菓事業 ―

店舗のオープン5周年に合わせて、叡山電鉄とのコラボレーションでクッキー缶を作成して販売しました。また、5月に抹茶をはじめとした質の高いお茶を素材として使用させていただいた小田園製茶場さんにお邪魔し、ご利用者と一緒に茶摘み体験を実施しました。

〔余暇の充実〕

コロナ禍によって大型バスを利用した日帰り旅行が実施できなくなったため、代替企画としてグループ慰労会(京都散策コース)府立植物園、下鴨神社、大文字山登山)を実施しました。

〔第三者評価の受診〕

3月23日に第三者評価を受診しました。受診結果を真摯に受け止め、より質の高い支援の提供と事業運営ができるよう努めてまいります。受診にあたっては7月より自己評価を開始し、評価基準に基づいて時間をかけてひとつひとつ項目ごとにすり合わせを進めました。この自己評価ならびにすり合わせを進める中で職員一人ひとりがたくましく、のびのびと働くことができました。

地域生活支援・相談支援事業

共同生活援助事業 (グループホーム)

通院付き添いや服薬管理・服薬介助が必要な方が多く、日々の健康管理を強化し、バイタルチェックの実施、記録作成、申し送りの徹底などの取り組みを行いました。医療機関との連携では、三嶋医院(修学院)、吉田歯科医院(浄土寺)などの地域の小規模医院との良好な関係が持続でき、実際に医療相談や診察に繋がっています。今年度は新たに、出木谷医院(岡崎)との連携を開始することができました。新型コロナウイルス感染症対策においても、医療機関の指導助言を得て、事業所単位、スタッフ個別の単位での感染対策に取り組みしました。パプテスト訪問看護ステーションおん(北白川)と法人間業務提携を結び、週1回の定期訪問を継続実施しました。また、平安調剤薬局(岡崎)とも連携を継続し、在宅患者訪問薬剤管理指導を受けています。訪問看護ステーションしおんの訪問看護及び訪問リハビリ、訪問医療マッサージKEIROWとの個別契約による利用を継続し、ご利用者に必要な医療ケア、身体ケアの充実を図りました。



福祉人材の育成

見学の希望があった場合には、必要な手続きを経て、随時見学をしていただきました。

9月6日…佛教大学 2名
9月7日…立命館大学 3名
9月8日…花園大学 1名
3月3日…花園大学 2名

居宅介護事業・ 移動支援事業

利用希望に応えるため、他法人の居宅介護事業所と連携を取りながら適正な契約者数、サービス量を維持することに努めました。人材確保に努めると共に、法人事業の再編に伴うサービス提供体制の大幅な見直しを行い、ご利用者ご家族への説明と調整を実施しました。見直しの段階で法人外の事業所への移行を希望される方には、紹介や引き継ぎなどを実施しました。

特定相談支援事業 (相談サポート「まあるく」)

サービス等利用計画の作成のために必要となる書類の準備、ご利用者・ご家族への説明、法人内事業所の職員への説明と協力体制の確立など、円滑なサービス提供が可能となるように事業を進めました。複数法人のサービス利用されているご利用者にも安定した支援を提供するために担当者会議を開催し、関係者と情報共有を行いました。サービス提供で使用する書類については、内容を見直し、より良く、より分かりやすい様式へと随時変更を加えました。ご利用者やご家族の健康状態の変化に応じて、必要な福祉サービスについて相談に応じると共に、将来の生活スタイルについても相談支援を行いました。

短期入所事業

修光学園
(ショートステイ「ikoï」・「hikari」)
日中一時支援事業
(修光学園ショートステイ「hikari」)

体制整備と運営形態の確立を継続して取り組みました。「ikoï」では、グループホーム「グロリア岡崎」の1室をショートステイとして使用するため、グループホーム運営の体制整備と並行してショートステイ事業を進めました。常時の利用者受け入れは体制上も難しく、緊急的なご利用に限って受け入れを行い、年間で「ikoï」3名のご利用がありました。ショートステイ「hikari」は21名のご利用がありました。

ディアコニアセンター及び、グループホームでは、住み慣れた地域で安心して日常生活を営むことができるように、身体の介護、家事の援助、移動の介護、相談や助言、その他の日常生活上の必要な支援を行っています。

修光学園ディアコニアセンター 修光学園グループホーム

DIAKONIA CENTER

【居宅介護等事業・グループホーム・ショートステイ・特定相談支援】



自分の部屋でじっくりと制作活動中。誰にも気兼ねなく集中して取り組みます。



自分の部屋にもテレビはあるけど、ダイニングを1人で占領するのも楽しい!!



ダイニングでゆったりくつろぎのティータイム。



ゆっくりと読書。何を読んでいるのかな?



ケーススタッフ
炭田 尚希 さん

それぞれの憩いの時間を「つくる」

学生アルバイトをきっかけに新卒入社4年。外出やグループホームの支援をしています。グループホームは3カ所。ご利用者のみなさんは昼間が日中活動事業所勤務のため、帰宅後はYouTubeやTV、雑誌を見たりなど、好きなことでゆっくり憩える時間を作っています。趣味の幅も広げてほしいので、週末はヘルパーと映画や美術館、レジャー施設や自然の中に出かけるなど、好きなものと出会う・発見する機会を提供していきたいと思っています。

事業の要点 修光学園ディアコニアセンター 修光学園グループホーム

法人内利用者を中心に、相談支援事業、京都市移動支援事業、居宅支援事業、共同生活援助等、障害のある方たちの充実した生活を支えるセンターとして、2022年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況等に適宜対応しながらご利用者のみなさんが安心して生活を送れるよう、特に以下の点について重点的に取り組みました。

〈支援の質の向上〉
ディアコニアセンター全スタッフの質の向上を目指す。定例スタッフ会議や支援業務を通じてのケース検討やOJTを実施しました。また、事業所内外で開催される研修への参加を奨励し、参加へと繋がりました。

〈京都市移動支援事業従事者養成研修の開催〉
新たなガイドヘルパーの養成と地域福祉のさらなる向上を目的として、京都市移動支援事業従事者養成研修を開催しました。コロナ禍を経て3年ぶりの開催となりましたが、以前と同様にノートルダム女子大学との共催とし、大学を会場として実施することができました。

〈グリーンビュー宝ヶ池の移転〉
建物の老朽化等により移転を検討していたグループホームグリーンビュー宝ヶ池(近隣地域にある新築物件に移転しました。ご利用者のみなさんは9月半ばに引越して、新ホームでの生活をスタートされました。

〈特定相談支援事業の充実〉
法人内通所事業所ご利用者を中心にサービス等利用計画の作成業務に取り組み、2022年度末まで利用契約者が150名となりました。地域生活を送る上で必要なサービス調整や緊急対応などの計画作成業務以外の対応についても、専任の相談支援員が適宜行っています。

社会福祉法人修光学園
沿革

1985年	4月	心身障害者通所支援事業「修学院学舎」開設
1987年	10月	社会福祉法人修光学園設立
1988年	5月	心身障害者通所支援事業「修学院学舎」開始
1988年	6月	知的障害者通所授産施設「修光学園」開設（定員30名）
1991年	2月	修光学園の「繰り返しみま置き」が 京都府主催第2回ベストデザインコンテストに入選
1991年	4月	心身障害者通所支援事業「修学院学舎」再開
1994年	6月	修光学園専用店舗「HOLYLAND」(心身障害者通所支援事業)開設
1996年	4月	知的障害者通所授産施設「京都市飛鳥井学園(飛鳥井ワークセンター)」 受託経営(定員50名)
1996年	6月	飛鳥井ワークセンター専用店舗「HOLYLAND飛鳥井店」開設
1996年	8月	阪神淡路大震災救援活動で厚生大臣表彰受賞
1999年	7月	レス/バイトサービス事業(法人独自事業)開始
2000年	10月	京都市グループホーム体験事業「エクセレント修学院」開設
2001年	1月	修学院学舎の「ミニミニ香炉」が京都デザイン優良品2001に認定
2002年	4月	心身障害者通所支援事業「ワークショップASK」開設
2002年	6月	社会福祉法人修光学園評議員会設置
2002年	10月	グループホーム「エクセレント修学院」(定員5名)が国基準に移行
2002年	11月	修学院学舎の「観音鉢」が京都デザイン優良品2003に認定
2003年	9月	修学院学舎を小規模通所授産施設「修光学園修学院学舎」に移行(定員19名)
2003年	12月	飛鳥井ワークセンター製造「オニオンフレッド」が 第1回ユニバーサルペーキングカップで大賞受賞
2004年	4月	「HOLYLAND」を移転、修光学園分場に移行(定員5名)
2004年	4月	第IIグループホーム「グリーンビュー宝ヶ池」(定員4名)開設
2004年	4月	修光学園の定員を35名に増員
2005年	3月	小規模通所授産施設「修光学園修学院学舎」を廃止し 4月より分場「HOLYLAND」に統合
2005年	3月	心身障害者通所支援事業「ワークショップASK」を廃止し 4月より飛鳥井ワークセンターに統合
2005年	4月	修光学園分場「HOLYLAND」の定員を19名に増員
2005年	4月	飛鳥井ワークセンターの定員を60名に増員
2005年	4月	居宅支援事業「修光学園ケアコニヤセンター」開設
2005年	6月	「修光学園ケアコニヤセンター」が 身体障害者・知的障害者・児童居宅介護事業所として認可
2006年	1月	修光学園の「ちぎり絵はがき」が京都授産振興センター製品コンペで特別賞受賞
2006年	2月	HOLYLANDの陶器「六角扇窓」が京都デザイン優良品2006に認定
2006年	10月	2カ所のグループホームを障害者自立支援法に基づく 「共同生活介護・共同生活援助事業」に移行
2006年	10月	修光学園ケアコニヤセンターの事業を障害者自立支援法に基づく 「居宅介護事業」と京都市「移動支援事業」に移行
2008年	10月	「社会福祉法人修光学園」を商標登録
2009年	4月	HOLYLANDを障害者自立支援法に基づく新事業体系 「就労継続支援B型」に移行
2010年	4月	HOLYLANDの定員を30名に増員
2011年	9月	修光学園を障害者自立支援法に基づく新事業体系「生活介護事業・就労継続支援 B型」に、飛鳥井ワークセンターを「就労移行支援事業・就労継続支援B型」に移行
2014年	1月	特定相談支援事業「修光学園ケアコニヤセンター 相談サポート「まあるく」」開設
2015年	2月	グループホーム「エクセレント修学院」の定員を8名に増員
2016年	4月	グループホーム「グロリア岡崎」を開所し、 「エクセレント修学院501号室」を開所、定員17名となる 短期入所事業、修光学園ショートステイ「koi」を グロリア岡崎内に開設(定員1名)
2016年	9月	飛鳥井ワークセンターが京都市より障害者就労支援優良施設市長表彰を受賞
2017年	4月	社会福祉法人修光会を吸収合併し、 新事業所「ワークセンターHall e」(就労継続支援B型・定員20名)を開設
2017年	12月	ワークセンターHall eに製菓工房を増設、HOLYLANDの製菓事業を移転
2018年	1月	洋菓子店「茶Lisweets Hall e」を「ワークセンターHall e」内に開設 京都市植物園で行われた、パティスリーあすの京都カップにて、 ワークセンターHall e製造「米幸/ぐん」が、通行人100名から選ばれる 『グランプリ』と、7名の審査員から選ばれる「審査員優秀賞」の2冠を受賞
2019年	11月	HOLYLANDの跡地に、新事業所「光の家アクティブセンター」(生活介護・定員20名)、 「修光学園ショートステイnikari」(短期入所・定員2名)を開設 (修光学園ケアコニヤセンターを同施設へ移転)
2022年	9月	修光学園グループホーム「グリーンビュー宝ヶ池」(定員4名)を移転開設 「ワークセンターHall e」が優良民間社会福祉事業施設に選定。
2024年	2月	天皇誕生日(2月23日)に際し、天皇陛下から御下賜金(ごかしきん)が下賜される

社会福祉法人修光学園 (2023年10月末現在)
評議員・役員等名簿

理 事	石室 良孝 (福)愛友会 理事長
理 事	加藤 俊明 (公財)京都YMCA 総理事・代表理事 (学)京都YMCA学園常務理事・国際福祉専門学校校長
理 事	木田 啓二 前・甲子園短期大学 特任教授
理 事	土井 起 土井公認会計士事務所 会長
理 事 (理事長)	森 のり子 (福)修光学園 理事長
理 事 (常務理事)	森 亮 (福)修光学園 修光学園・光の家アクティブセンター・ 修光学園ケアコニヤセンター 統括センター長
監 事 第三者委員	平尾 嘉晃 中村法律事務所所属 弁護士
監 事 第三者委員	脇田 宣 (福)白川学園 理事長
評議員	青山 敏夫 社会保険労務士・行政書士 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす事務局長
評議員	榎本 栄次 (学)敬和学園理事長 (公財)日本クリスマスチャリティアカデミー 関西セミナーハウス活動センター 所長
評議員	岡崎 祐司 佛教大学 社会福祉学部教授
評議員	藤田 徳治郎 (福)京都市左京区社会福祉協議会 会長
評議員	沼崎 勇 日本福音ルーテル京都教会・修学院教会 牧師
評議員	平尾 剛之 (一財)社会的認証開発推進機構 専務理事・研究主幹
評議員	三木 恒治 (福)鳳凰財団済生会 滋賀県病院 院長 京都府立医科大学 名誉教授



京の黄真珠使い ゆずこししょう

京の黄真珠は、直径5〜8ミリと丸く黄色い粒で、香りがよいトウガラシ。完熟した実を乾燥させ、香辛料として使うが、未成熟の緑色の実は廃棄されていた。加工すれば食品に問題のない規格外の実を有効活用しようとして、府や市も協力して商品化が実現した。

黄真珠以外の材料は、右京区水尾庫のユズの皮と、京丹後市夕日ヶ浦で組み上げた海水を精製した塩。黄真珠の香りと香りを生かすよう、配合を工夫したという。

完成したゆずこししょうは、かんきつ系の香りが鼻に抜けて、ぴりっとした辛みだけでなくフルーティな甘味もほんのりと舌に残るのが特徴。鍋物やキョーザ、肉料理など幅広いメニューに合うという。

製造を担当した田村亮さん(47)は「辛みは強いが、好きな人はやみつきになるはず。ぜひ試してほしい」と話している。

750円。左京区のスーパー「グレース」な本店で販売。10月26日のみ、サッカ―JリーグサングァFCの試合が開催されているサングァスタジアム京セラ(亀岡市)でも販売する。

幅広い料理に

左京の福祉事業所開発

タカノツメの2倍の辛みとされる新京野菜「京の黄真珠」を使ったゆずこししょうを、京都市左京区の福祉事業所「飛鳥井ワークセンター」が開発した。京都府内産のユズと塩を加えたこだわりの調味料で、「和食も肉料理も引き立てる大人の味に仕上がった」という自信作だ。

